

## 一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題

### 【注意事項】

1. 携帯電話やスマートフォン等の電子機器の電源はお切りください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題用紙は開けないでください。  
枚数は、表紙を含めて6枚あります。
3. 問題用紙に解答欄がありますので、問題用紙は持ち帰りません。
4. 試験開始の合図がありましたら、最初に「事業者名」「受験者名」「席番号」  
を確実に記入してください。
5. 本問題中「事業者」と記載しているものは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」  
を指します。また、設問の文中には、法令条文の一部を省略しているものが  
あります。
6. 試験中に、「過去問題を見る」等の禁止されている行為を確認した場合、  
不合格扱いとします。
7. 試験開始後30分経過した段階で、途中退席についてのご案内をします。  
解答が終わり途中退席を希望される方は、他の受験者の迷惑とならないよう  
静かに退出して下さい。退出後にご帰宅いただいて構いません。
8. 試験結果につきましては、郵送にて通知致します。

関東運輸局

申請者名（事業者名）\_\_\_\_\_

記入者名（受験者名）\_\_\_\_\_

席 番 号	
-------------	--

I. 次の1. から15. までの文章で、正しいものには ○ 印を、そうでないものには × 印を  
（            ）内に記入しなさい。

1. 事業者は、法令の規定による通知に従い、一般貸切旅客自動車運送適正化機関に対し、負担金を納付する義務を負う。**（道路運送法第43条の15）**

（    ○    ）

2. 新規登録を受けた自動車について所有者の変更があったときは、新所有者は、その事由があった日から三十日以内に、国土交通大臣の行う移転登録の申請をしなければならない。

**（道路運送車両法第13条）**

（    ×    ）

3. 事業者は、事業用自動車に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であつて地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかなければならない。**（運輸規則第29条）**

（    ×    ）

4. 一般旅客自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもつてするかを問わず、一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。**（道路運送法第33条）**

（    ○    ）

5. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可の更新がなされたときは、その有効期間は従前の有効期間の満了の日の翌日から起算するものとする。**（道路運送法第8条）**

（    ○    ）

6. 旅客自動車運送事業者は、主たる事務所ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)  
( × )
7. 道路運送法における「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業である。(道路運送法第2条)  
( ○ )
8. 旅客自動車運送事業者は前年四月一日から三月三十一日までの期間に係る事業報告書を毎事業年度の経過後1年以内に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)  
( × )
9. 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取り扱いその他運輸に関して苦情を申し出た者に対して、遅滞なく、弁明しなければならない。ただし、氏名及び住所を明らかにしない者に対しては、この限りではない。(運輸規則第3条)  
( ○ )
10. 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。(道路運送車両法第66条)  
( ○ )
11. 旅客自動車運送事業者は、試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至つた者を除く。)を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(運輸規則第36条)  
( ○ )
12. 事業者はその事業を廃止したときは、その日から三十日以内に届け出なければならない。(道路運送法第38条)  
( × )
13. 一般貸切旅客自動車運送事業の用に供する車両総重量5トン以上の自動車に限り、運行記録計を備えなければならない。(運輸規則第26条)  
( × )
14. 一の営業所において複数の運行管理者を選任する旅客自動車運送事業者は、それらの業務を統括する運行管理者を選任しなければならない。(運輸規則第47条の9)  
( ○ )
15. 事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。(道路運送法第10条)  
( ○ )

II. 旅客自動車運送事業の運行管理に関する次の文中、( ) 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、( ) 内に記号を記入しなさい。

(運輸規則第24条)

旅客自動車運送事業者は、乗務しようとする運転者に対して対面（運行上やむを得ない場合は電話その他の方法。）により（ **ウ** ）を行い、次の各事項について報告を求め、及び確認を行い、並びに（ **コ** ）の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。

- ・道路運送車両法の規定による（ **イ** ）又はその確認
- ・（ **オ** ）の有無
- ・疾病、疲労、（ **カ** ）その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無

ア. 運行管理者	イ. 点検の実施	ウ. 点呼	エ. 事故歴	オ. 酒気帯び
カ. 睡眠不足	キ. 安全な運転	ク. 他社	ケ. 教育	コ. 事業用自動車
サ. 自動車の登録	シ. 資金不足	ス. 翌日	セ. 指示	ソ. 運行指示書

III. 旅客自動車運送事業者の従業員に対する指導監督に関する次の文中、( ) 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、( ) 内に記号を記入しなさい。

(運輸規則第38条)

- ・旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が（ **ケ** ）で定めるところにより、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる（ **ス** ）並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その（ **オ** ）及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を記録し、かつ、その記録を（ **キ** ）において（ **ア** ）保存しなければならない。

ア. 三年間	イ. 一年間	ウ. 経路	エ. 教育	オ. 日時、場所
カ. 報告	キ. 営業所	ク. 精神	ケ. 告示	コ. 電子媒体
サ. 車庫	シ. 基準	ス. 運転技術	セ. 通達	ソ. 指導監督

IV. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を 答. \_\_\_\_\_ の欄に記入しなさい。

1. 一般旅客自動車運送事業者は、国土交通省令で定めるところにより、輸送の安全を確保するために講じた措置及び講じようとする措置その他の国土交通省令で定める輸送の安全にかかわる情報を（ ）しなければならない。(道路運送法第29条の3)

答. 公表

2. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員の宿泊費等当該運送に関連する費用は、（ ）の負担とします。(標準運送約款第14条)

答. 契約責任者

3. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の（ ）を受けなければ、その効力を生じない。(道路運送法第36条)

答. 認可

4. 旅客自動車運送事業者の従業員は、その職務に従事する場合は、輸送の安全及び旅客の（ ）を確保することに努めなければならない。(運輸規則第2条)

答. 利便

5. 大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から（ ）以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。(道路運送車両法第52条)

答. 十五日

V. 事業者は、事業用自動車の運転者ごとに乗務員台帳を作成し、これを運転者の属する営業所ごとに備えておかなければなりません。下記の中で乗務員台帳に記載が必要な事項には ○印 を、そうでない事項には ×印 を ( ) 内に記入しなさい。

(運輸規則第37条第1項)

- ① 運転免許証の番号及び有効期限 ( ○ )
- ② 作成番号及び作成年月日 ( ○ )
- ③ 運転者の氏名、生年月日及び住所 ( ○ )
- ④ 事業者の氏名又は名称 ( ○ )
- ⑤ 運転者の健康状態 ( ○ )

VI. 道路運送法に関する次の条文について、( ) 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、( ) 内に記号を記入しなさい。

(道路運送法第1条)

- ・道路運送法は ( イ ) と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の ( サ ) の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、( ケ ) を確保し、道路運送の ( カ ) の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって ( セ ) を増進することを目的とする。

ア. 供給	イ. 貨物自動車運送事業法	ウ. 車両数	エ. 適正な運営	オ. 事業者
カ. 利用者	キ. 旅客の利便	ク. 旅行業法	ケ. 輸送の安全	コ. 訪日外国人
サ. 需要	シ. 道路運送車両法	ス. 利益	セ. 公共の福祉	ソ. 道路交通法